

歓 声に包まれ心地よい汗

健康体づくりフェスティバル

緊張の第1打グラウンドゴルフ



体づくりと参加者の交流を図る、健康体づくりフェスティバルが11月29日、旭スポーツの森公園で開かれ、小学生とお年寄りを合わせた493人が三つの競技に分かれ汗を流しました。お年寄りと小学生と一緒にプレーしたグラウンドゴルフでは、スタートから少ない打数で上がるお年寄りに対し、小学生は少々苦戦。それでも徐々に、ナイスショットを披露していました。小学生同士が対戦したドッジボールとティーボールでも、大きな歓声の中、元気にプレーする姿が見られました。

テレビが与える影響を考えてと講演

第5回文化講演会

予定時間を過ぎても質問に答える福留さん



キャスターの福留功男^{ふくろう}さんを講師に招き、11月28日に東総文化会館で、講演会「現代の若者^{わかもの}気質」が開かれました。集まった600人を前に福留さんは、「今の若者は、うまくコミュニケーションが取れない。小さいときから、画像がそのまま頭に入るテレビを見て育つことが、想像力の乏しい人間を生む。家族そろっての食事、テレビを見ながらでは目を見て会話する機会も減る。テレビと上手に付き合おう」と話しました。「コミュニケーションを取るとき気を付けていることは」との質問には、「常に相手の立場や状況を考える」と答えていました。

「常に相手の立場や状況を考える」と答えていました。

届け！若者たちの思い

青少年意見発表大会

市内の小中学生や高校生、社会人など23人が11月14日、東総文化会館大ホールで意見発表を行いました。

生活の中で心に残った貴重な出来事や疑問に思うこと、感じていたことなどをまとめたその発表は、家族への思いや世界の平和、環境問題など多岐にわたり、未来へ向けた若者の思いが強く込められていました。発表内容は市のホームページから見ることができます。

より充実した地域福祉を

第5回社会福祉大会

健やかで、やすらぎのあるまちづくりを目的に、東総文化会館で11月20日、社会福祉大会が開かれました。280人が来場し始まった式典では、福祉の向上に貢献した17人と17団体および、社会福祉作文入賞の小中学生23人が表彰されたほか、「住みなれた地域で、誰もが安心して暮らしていけるよう地域福祉の充実に努める」などとした大会宣言が採択されました。また、小中学生が「障害について理解を」などと話した作文発表や、永山久夫さん（食文化史研究家）による「長生きするための食事学入門」と題した講演会も開かれました。



▲作文を発表した小川ひかりさん（鳴鳴小5年：左）と鈴木哲也さん（干潟中1年）

る」などとした大会宣言が採択されました。また、小中学生が「障害について理解を」などと話した作文発表や、永山久夫さん（食文化史研究家）による「長生きするための食事学入門」と題した講演会も開かれました。

練習を重ね 目標はプロ野球選手

第5回ヤクルト野球教室



▲守備の細かい点まで指導を受ける子どもたち

プロ野球選手OB3人による野球教室が11月28日、海上コミュニティ運動公園野球場で開かれ、市内スポーツ少年団10チーム99人の小学生が実技指導を受けました。「失敗してもいいから挑戦すること」とOBから声が飛ぶと、子どもたちは先を争い練習を開始。トスバッティングで見事なスイングを披露した子どもは、「プロの選手を目指せ」と声を掛けられて笑顔。「練習しないと絶対にうまくならない」「道具を大切にしろ」などの言葉も送られた子どもたちは、「強くてコントロールの良いボールの投げ方を教わった。練習したい」と話していました。



共に歩んだ50年

旭市合同金婚式

市内の夫婦81組を招いて11月10日、市内結婚式場で合同金婚式が行われました。参加した夫婦は、地区ごとに記念撮影をした後、式典でお祝いの言葉や記念品の贈呈を受けました。その後は祝宴が設けられ、思い出話などに花を咲かせながら、だんらんのひとときを過ごしました。

都市部のスーパーで野菜をPR

市長・JA組合長トップセールス



▲買い物客にミニトマトの試食を勧める生産者

都市部の消費者に野菜の一大産地である旭市を広く知ってもらおうと11月28日、市内の生産者や農業関係者などが都市部のスーパー3か所へ出向き、旭産の野菜の販売やPRを行いました。旭市のブースが設けられた会場では、トマトやキュウリ、レタスなどの試食をした買い物客が「おいしい」と言っては、買い求めていました。また、会場に駆けつけた市長とJAちばみどりの組合長は、無料配布用に用意された100パックのミニトマトを直接買い物客に手渡ししながら、旭をPRしていました。

地域の安全を守るために

集団防犯パトロール



▲出発式を行うエンジョイパトロール隊と警察官、区長ら

「自分たちのまちは、自分たちで守ろう」をスローガンに11月20日、旭地域で結成されているエンジョイパトロール隊が旭警察署、旭地域の区長らと集団防犯パトロールを実施しました。

参加者は、旭防犯パトロールの帽子と反射材が付いた緑色のベストをまとい、市役所玄関前で出発式を行いました。式後、防犯のぼり旗を手に、パトロール隊と警察官が市内の通学路などを巡回しました。



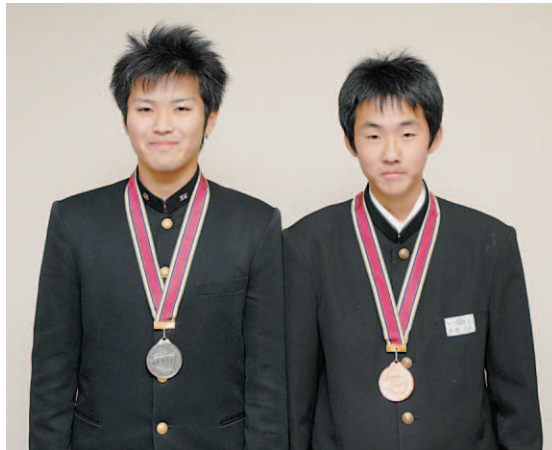
▲祝宴は和やかな雰囲気

空手兄弟そろって世界大会へ

世界のトップレベルの空手選手たちが集う、ホノルル国際空手道選手権大会が11月28日、ハワイマノアバレーディストリックパークの体育館で行われ、若海恭平、拓馬兄弟（江ヶ崎）がそろって日本代表として出場しました。全日本ジュニア選手権の成績やこれまでの実績を評価され、見事世界の切符を手にした二人は、出場した種目すべてでメダルを獲得するすばらしい成績を収めました。成績は次のとおり。（敬称略）

若海恭平 個人組手と団体組手で銀、個人型で銅
拓馬 個人組手、団体組手、個人型でそれぞれ銅

▲次はもっといい色のメダルを、と意気込みを見せる若海恭平（匠達高校2年・左）と拓馬（二中2年・右）兄弟



宝くじ助成でまつりの用具を購入

倉橋区では、平成21年度コミュニティ助成事業を受けて、弥勒三番叟の衣装やお面など、地区で行われるまつりの用具を購入しました。倉橋区長は「新しい用具がそろったので、若い世代の関心が深まって、後継者の育成につながる。地域全体の活性化になれば」と話していました。



▲今回購入した用具の一部